

ちばセンセイの健康ワンポイントアドバイス

桜の季節も終わり、道ばたにはタンポポやふきが多く見られるようになってきましたが、朝晩はまだ寒い日が続いています。喉の風邪や胃腸風邪がまだ流行っています。外から帰ってきたら、手洗い・うがいをしっかりしてくださいね。

前回から糖尿病の話をさせて頂いています。糖尿病の方は多く、初期から症状を感じることは非常に少ないので、検査を受けるのを勧めましたが、そもそも糖尿病とはどういった病気なのでしょうか。

今でこそ医療機関でいろいろな検査ができるようになりましたが、糖尿病という病気は最近生まれた病気ではありません。古代エジプト時代にはすでにあつたとされています。この時代はもちろん血液や尿検査はありませんでしたので、症状をもとにこの病気が命名されました。糖尿病の英語は「diabetes mellitus」ですが、「diabetes」はギリシャ語の「通り過ぎる」、「mellitus」はラテン語の「蜜」が語源だそうです。糖尿病の症状の一つとして、多飲多尿というのがあります。たくさんの水が体を通り過ぎる、蜜のように甘い尿が出る病気だということです。

しかし、糖尿病の本質は尿中に多量の糖（ブドウ糖）が出ることではありません。糖尿病の患者さんでも、尿糖が出ないこともありますし、尿糖が出ていても糖尿病ではない方もいます。ですから糖尿病の診断基準に尿糖はありません。糖尿病の本質は血液中のブドウ糖濃度が高いことです。

特定健診のはがきが送られてきている方も多いと思います。特定健診では、糖尿病の診断に必要な血糖（ブドウ糖）とHbA1cも調べます。特定健診をご希望される方は、まずはクリニックにご連絡ください。

(Tel 64-6650)。

大楽毛 2-2-27
ちば内科クリニック
院長 千葉 淳
Tel 64-6650